

地域共生社会における 多様な就労困難者の効果的な就労支援プログラム形成プロジェクト 参加団体（地域）の募集について

「就労の相談支援を改善したいけど、何から始めれば…？」と悩まれたことはありませんか？

「仕事や職場環境を確かめ・試しながら適職を探れたら…」「不安定・低収入だが働きながら次の就労を準備したい」「健康や家族の問題を解決しながら就労できれば…」など、暮らしの相談窓口でもさまざまな就労ニーズに直面します。一方、仕事や働き方は大きく変化し、選択肢が拡大していますが、自助努力だけで適職やふさわしい環境等を探り順調なキャリアを歩むことはますます難しくなっています。求められる相談支援は、従来の【障害】【高齢】【子育て】【若者】など制度別の取組みを経て、【生活困窮】の制度等が契機となって全国の自治体・地域で展開され、強化が図られています。

このプロジェクトは、文部科学省科学研究費研究班(代表:大島巖・東北福祉大学教授、副学長)が、「効果的な就労支援プログラム形成のためのガイド(効果モデル試行版)」(以下「効果的な就労支援ガイド」)を開発した公益社団法人ユニバーサル志縁センターと協力し、「福祉課題への変革プログラムに取組む実践家と組織の評価キャパシティ形成法の開発研究の中で、汎用性のある『効果的な就労支援プログラム形成のためのマニュアル』作成をめざして取り組んでいます。

今年8月から、同プロジェクト参加団体を全国から募り、「効果的な就労支援ガイド(効果モデル試行版)」と関連の評価ツールの有用性を検証する研究調査をスタートさせます。「効果的な就労支援ガイド」を使って、自治体の関係部署や地域団体等の皆さんとともに就労支援の改善を進め、必要な専門的応援をさせていただきますので、地域の特性や事情等を踏まえた就労支援の機能強化を図ろうと考えておられる多くの団体(地域)のご参加をお待ちしています。なお、2023年3月に開催しました本プロジェクトの説明会動画はこちらになります。https://youtu.be/Gbg_60YJWbA お時間がございましたらご視聴頂けますと幸いです。

このプロジェクトに参加いただくと…

- 1【参加団体の群分けと効果モデルの有用性検証】8月から「効果的な就労支援ガイド」を利用した取組みを開始する団体(前期開始団体)と、来年2月から開始する団体(後期開始団体)に分かれていただきます。いずれの団体もプロジェクトの参加(データ収集等の)時期は今年8月になります。
- 2【プロジェクトの説明・研修】プロジェクトの説明とともに、「効果的な就労支援ガイド」を使った事業の評価や改善の進め方、プロジェクトで行う調査の進め方などについて研修を行います。
- 3【「効果的な就労支援ガイド」を使った団体の取組み方針の作成】団体ごとに「効果的な就労支援ガイド」を使った事業の評価とともに、課題の整理や解決策等を整理し、取組み方針を作成します。
- 4【「効果的な就労支援ガイド」による改善、団体・利用者・スタッフの調査】改善のチェック(フィデリティ評価)のほか、団体・利用者・スタッフの調査を3回行っていただきます。
- 5【団体コンサルテーション、「効果的な就労支援ガイド」に係る評価活動の研修】3の取組み方針に沿って、必要な専門的な支援(プログラム実施のコンサルテーションやワークショップ等)の機会を提供します。これらは、評価-改善のサイクルを継続して取り組むための機会にもなります。
- 6【「効果的な就労支援プログラム形成のためのマニュアル」(案)の作成】各団体の取組みを踏まえて、皆さんとともに「効果的な就労支援ガイド」の拡充とその活用の進め方をまとめた「効果的な就労支援形成のマニュアル」(案)を検討します。

本プロジェクトに関するお問い合わせ

本プロジェクトについて、ご関心やご不明な点がございましたら、こちらのメールアドレスまでお問い合わせください。皆様方のご協力・ご参加を心よりお待ちしております。

【Email】 employment.project2023@gmail.com

公益社団法人ユニバーサル志縁センター(事務局長:池本修悟)
文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B):福祉課題への変革プログラムに取組む
実践家と組織の評価キャパシティ形成法の開発研究班
(代表:大島巖・東北福祉大学、副学長)